



噴火に負けない備えを— 有珠山火山噴火防災訓練で避難所設営



有 珠山の噴火災害に備えるため、有珠山火山噴火防災訓練が9月30日、行われました。

今回の訓練は被害が最大となる山頂噴火を想定し、被害範囲内にある16自治会などから約100人が参加しました。自家用車での避難が難しい人は、一時集合場所に集まり、バスに搭乗。このうち泉集会所には、訓練に協力した陸上自衛隊のトラックが駆けつけ、参加者と隊員が乗り込みました。

参加したバス、トラックは旧香川小学校体育館に移動。全員参加で実際に避難所

で使用する段ボールベッドの組み立て体験を行いました。参加者は町の防災担当による説明を受けた後、グループに分かれてベッドと、ベッドを囲むパーティションの設置を開始。段ボールでできた箱を組み合わせてベッドを作り、パーティションで囲んでプライバシー保護にも配慮した避難スペースを確保しました。完成後は寝心地など実際の使用感を確かめました。

その後は自衛隊のトラックの乗車体験や、NTTドコモの災害用無線車の展示などが行われ、多くの参加者が足を運びました。

参加したバス、トラックは旧香川小学校体育館に移動。全員参加で実際に避難所

